

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	エネサーブ株式会社				
代表者名	氏名	井上 博司	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒520-2152 滋賀県大津市月輪二丁目19番6号				
事業者の区分	☒	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	☐	その他の事業者			
主たる事業の概要	2024年7月現在、東北電力、東京電力、中部電力、関西電力、中国電力、九州電力エリアにおいて、電気の小売を行っております。他社から購入の電力のほか、大津エネルギーセンター(滋賀県)、綾部エネルギーセンター(京都府)の自社発電所を組みあわせ、電力供給を行っております。				
		基準年度実績	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
電力供給量(総量)	千kWh	850,400	550,637		
電力供給量(長野県)	千kWh	11,173	9,136		

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 公表方法等

☒	ホームページ	http://www.eneserve.co.jp/
☐	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
☐	その他	

(様式第1号)

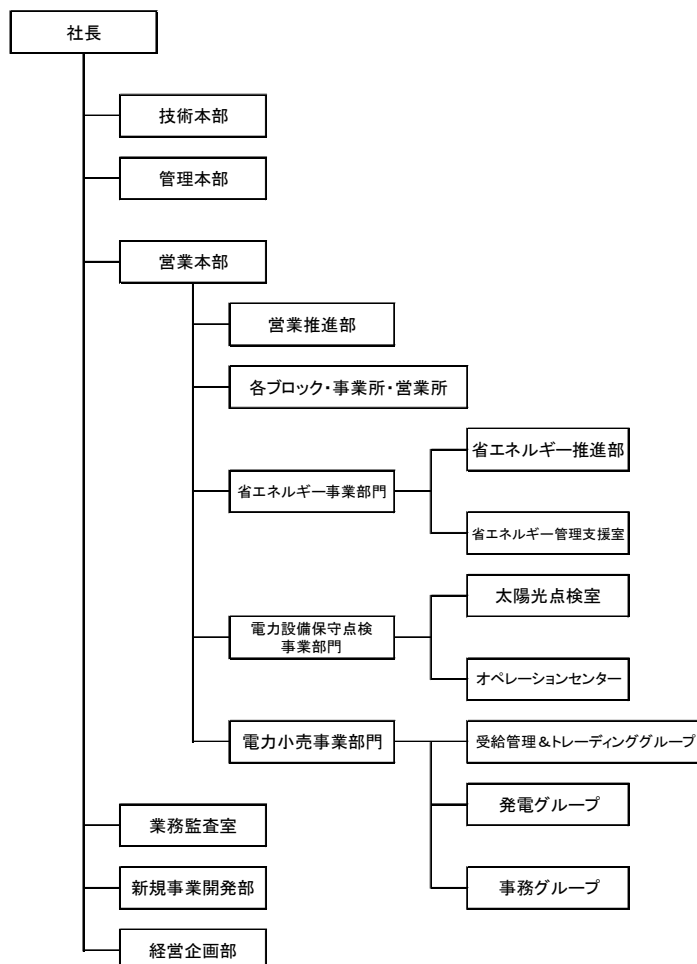
4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

○太陽光電力やバイオマス電力などの購入による再生可能エネルギーの利用拡大を継続するとともに、自治体の廃棄物発電電力の購入により、非バイオマス燃料による未利用エネルギーの確保に努めます。

○非化石証書を付与した電気供給の営業活動を通じて、再生可能エネルギーの利用の促進に努めます。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

地球温暖化対策および再生可能エネルギー供給拡大計画の推進体制



6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の量の削減に関する目標等

基 準 年 度	基礎排出係数	0.000258	t-CO ₂ /kWh
2022 年度	調整後排出係数	0.000503	t-CO ₂ /kWh
目 標 年 度	目標排出係数	極力低減	t-CO ₂ /kWh
2025 年度	目標削減率	-	%
目標設定に関する説明	太陽光などの再生可能エネルギーおよび自治体の廃棄物発電設備からの未利用エネルギーによる発電電力を積極的に調達し、目標達成を図ります。		
第一年度	基礎排出係数	0.000283	t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数	0.000527	t-CO ₂ /kWh
2023 年度	削減率	-9.69	%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量	156	千t-CO ₂
排出係数等の増減理由	供給量の低下からFIT比率が増加したことに伴い調整後排出係数に関しては増加しました。		
第二年度	基礎排出係数		t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh
2024 年度	削減率		%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量		千t-CO ₂
排出係数等の増減理由			
第三年度	基礎排出係数		t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh
2025 年度	削減率		%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量		千t-CO ₂
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

FIT電気以外の再生可能エネルギー由来の電気の調達割合を高めることで、目標達成を図ります。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分	調達する電気の電源構成の割合（W・h比）								
基準年度	石炭火力	13.5	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）	0.67	%
	LNG火力	29	%	水力	0	%	卸電力取引所 ^{※3}	19.2	%
2022 年度	石油火力	2.4	%	FIT電気 ^{※2}	23.5	%	その他（ 他社から卸売を受け、 発電所の特定ができない電 気 ）	11.7	%
最終年度 における 見通し ^{※1}	石炭火力	10	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）	5	%
	LNG火力	33	%	水力	0	%	卸電力取引所 ^{※3}	15	%
2025 年度	石油火力	2	%	FIT電気 ^{※2}	25	%	その他（ 他社から卸売を受け、 発電所の特定ができない電 気 ）	10	%
第一年度	石炭火力	0.7	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）	0	%
	LNG火力	8.1	%	水力	0	%	卸電力取引所 ^{※3}	21.4	%
2023 年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	61.7	%	その他（ 他社から卸売を受け、 発電所の特定ができない電 気 ）	8.1	%
第二年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%
2024 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他（ ）		%
第三年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%
2025 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他（ ）		%
備考	○卸電力取引所から調達した電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギー など様々な電源から供給された電気が含まれます。 ○他社から調達した電力（インバランス供給を含む）のうち、 ①電源構成が公表されている、もしくは電源構成情報の提供を受けた電力については、当該構 成に基づいて案分し、上記の種類ごとに仕分けています。 ②電源構成に関する情報がなく、発電所が特定できないものについては、「その他」の取り扱 いとしております。								

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量			再生可能エネルギー源の種類（内訳）					
				電源	種類別調達量				
	県内分		再生可能エネルギー電気(FIT電気を除く)		FIT電気				
基準年度	191, 174	千kWh	0	千kWh	太陽光	35	千kWh	136, 407	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	15, 290	千kWh
					バイオマス	5, 963	千kWh	33, 479	千kWh
					その他 ()	0	千kWh	0	千kWh
2022 年度									
最終年度 における 見通し	最大限調達	千kWh	最大限調達	千kWh	太陽光	最大限調達	千kWh	最大限調達	千kWh
					風力	同上	千kWh	同上	千kWh
					水力	同上	千kWh	同上	千kWh
					バイオマス	同上	千kWh	同上	千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2025 年度									
第一年度	342, 642	千kWh	0	千kWh	太陽光	37	千kWh	201, 176	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	23, 482	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	117, 947	千kWh
					その他 ()	0	千kWh	0	千kWh
2023 年度									
第二年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2024 年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2025 年度									
備考									

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

○電力小売事業用の電源調達の際は、環境負荷の低い再生可能エネルギー電源の調達を優先するよう努めております。
○コーポレートPPAなど太陽光発電を利用した再生可能エネルギー電気の供給拡大を目指していきます。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出の量の削減の研究と取組

○CO2排出係数の低い電源を調達するよう努めております。太陽光電力やバイオマス電力などを購入し、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組むとともに、清掃工場からの電気の調達を行い、未利用エネルギーの確保に努めます。
○自社発電所においては、発電時に発生する排風を利用した風力発電を行い、未利用エネルギーの活用に取り組むとともに、日常巡視点検により異常の早期発見に努め、効率の良い運転を追求します。
○非化石証書を付与した電気供給の営業活動を通じて、再生可能エネルギーの利用の促進に努めます。

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	○自社開発したエネルギー・CO2計測システム（G-Pacs）の需要家への設置・利用を通じて、各需要家のエネルギー使用、CO2排出量の見える化を図り、高効率化設備への改修提案を行っております。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	○当社顧客に対して省エネルギー関連の相談窓口を各事業所に設けております。
その他	○電力設備の保安点検業務（メンテナンス）を通じ、より効率的な電気エネルギーの利用方法等の提案も行います。

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	2020年までは自社の綾部エネルギーセンターにおいて、地元で発生し市民グループを通じて引き取った廃食油によるバイオマス発電を行ってまいりました。
第 一 年 度 実 績	なし
第 二 年 度 実 績	
第 三 年 度 実 績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	グリーン電力証書の発行事業を行っております。 省エネ・CO2排出削減のため、社内のクールビズ・ウォームビズを実施しています。 また、お客さまに対してエネルギーの見える化のための設備設置を提案するとともに、省エネ診断を実施し改善ポイント等をご案内させていただき取り組みを継続いたします。
第 一 年 度 実 績	・基準年度に引き続き、グリーン電力証書の発行事業を行っております。 ・省エネ・CO2排出削減のため、社内のクールビズ・ウォームビズを実施しています。 ・お客さまに対してエネルギーの見える化のための設備設置を提案するとともに、省エネ診断を実施し改善ポイント等をご案内させていただき取り組みを継続いたしました。 ・弊社事業所において、非化石証書を付与した再生可能エネルギー100%の電気を利用しております。 ・営業車のEV社への更新を進めております。
第 二 年 度 実 績	
第 三 年 度 実 績	

(様式第 1 号)

1 3 自由記載欄

--

(様式第 1 号)

1 4 メニュー別排出係数等 (非公表シート)

実績年度	2023	年度
------	------	----

番号	メニュー名	低圧/ 高圧	調整後 排出係数 t-CO ₂ /kWh	再エネ 率 (電源構成)	公表	新規 受付	当該メニューの掲載された URL
1	RE100メニュー (市場連 動)	低圧/ 高圧	0	100%	可	可	なし
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							